

Title	企業を超えたアイデア交流によるイノベーション推進戦略
Sub Title	
Author	加藤, 英男(Kato, Hideo) 小林, 喜一郎(Kobayashi, Kiichiro)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2010年度経営学 第2511号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002010-2511

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

80930207

加藤 英男

主査

副査 1

副査 2

小林 喜一郎

中村 洋

浅川 和宏

研究テーマ

企業を超えたアイデア交流によるイノベーション推進戦略

内容の要旨

本論文は、近年のグローバルで変化の激しい競争環境の中、企業がいかに継続的にイノベーションを創出し、成長し続けていくことができるのだろうか、という問いに対する一つの解としての、企業を超えたアイデア交流によるイノベーション推進戦略（オープン・イノベーション戦略）について取り上げたものである。オープン・イノベーションとは、「企業内部と外部のアイデアを有機的に結合させ、価値を創造すること」であり、研究方法は、このオープン・イノベーション戦略を採用し、イノベーションの推進に成功してきたいくつかの企業の事例をもとにした、仮説検証型の事例研究を採用した。オープン・イノベーションについては、過去より、特に近年においては活発な研究、議論が行われているが、それをパターンごとに類型化し、各類型それぞれについて共通の分析の軸をもとにした具体的なキー・サクセス・ファクターを考察したものを発見することはできなかったため、今回、それらを導出することを主要な目的とした。本論文では、アイデアの交流形態、ならびにアイデアの流れる方向という観点から、これを3つの類型に分け、各類型共通の5つの分析の軸をもとに、仮説、検証を行うことによってそれぞれのキー・サクセス・ファクターを明らかにした。それぞれの類型ごとに特徴があり、キー・サクセス・ファクターや採用にあたっての重要な点、注意すべき点についても異なることが分かった。これらの結論を、今後の企業におけるオープン・イノベーション戦略の採用、推進にあたっての示唆としたい。